

『後醍醐天皇綸旨』を解読する

～中世の政治権力の特徴にせまる～

2年 日本史B
「中世社会の展開：
建武政権の成立」

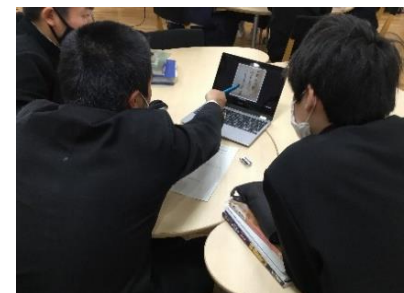
ねらい

- 郷土資料の原本画像資料を実際に解読し、郷土の歴史をより身近に感じ親しむ。
- 中世国家と社会や文化の特色について、歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。

学 習 展 開

【1時間目/全2時間】

- ① 資料に付帯する情報を確認する。(5分)
 - ・元弘の変から後醍醐天皇の隠岐脱出、京都帰還への動きを、概略的に把握する。
- ② 相見家文書『後醍醐天皇綸旨』の画像から、文を解読する。(20分)
 - ・2～3人でグループを組成・ワークシートを配布。
 - ・原本画像資料をChromebookに表示し、グループで読み解く。
- ③ 読み下し文から、大意を把握する。(7分)
 - ・解読した資料文を、現代の言葉で意識する。
- ④ 資料のもつ特質から、後醍醐天皇の意図を推測する。(10分)
- ⑤ 本時のまとめ(3分)



授業の様子

【2時間目/全2時間】

綸旨の意味を武士側に立って考え、政権の特徴をつかむ。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教科担当教員と事前に打ち合わせを行い、機器の設定や準備を行う。
- 学校司書は、生徒の活動に必要な資料を準備する。
- 学校司書は、T2として、活動に必要なICT機器の準備や設営を行い、進行を補助する。

★指導のポイント

- ◆ Chromebook を用いることで、資料解読時に文字の拡大ができるなど、大きな利点がある。
- ◆ この文書を発出した天皇の意図と、受領した武士の反応を想像することを通して、建武政権の特徴についての気づきを促す。

資料

- ・鳥取県立公文書館作成『新鳥取県史を活用したデジタル郷土学習教材』『後醍醐天皇と船上山合戦』(https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1251968/c611_1.pdf)
- ・『くずし字解読辞典』(児玉幸多／編、東京堂出版、1999)などくずし字に関する資料